

## 2020（令和2）年度事業報告

（1） 研究発表会等の開催及び機関誌等の刊行による小児外科学に関する学術研究事業（定款第4条第1号）

1， 第57回日本小児外科学会学術集会を下記のとおり行った。

日時：令和2（2020）年9月19日～21日

場所：都市センターホテル、web開催併催

参加者数：1,282名、演題数：640題

テーマ：小児医療システムの擁護と支援「子どもが最初、いつだって」  
“Championing Children’s Care”

2， 第36回日本小児外科学会秋季シンポジウムを下記のとおり行った。

日時：令和2（2020）年11月5日（木）～11月26日（木）

場所：Web開催形式

参加者数：360名、演題数：31題

テーマ：デバイスの進歩と手術の工夫

3， 学会誌「日本小児外科学会雑誌」を下記のとおり発行した（電子ジャーナルとして発行し、希望により配本した）

| 発行年月日      | 巻  | 号 | 発行部数 |
|------------|----|---|------|
| 令和2年4月20日  | 56 | 2 | 200  |
| 令和2年6月20日  | 56 | 3 | 200  |
| 令和2年8月20日  | 56 | 4 | 200  |
| 令和2年8月22日  | 56 | 5 | 200  |
| 令和2年10月20日 | 56 | 6 | 200  |
| 令和2年12月20日 | 56 | 7 | 200  |
| 令和3年2月20日  | 57 | 1 | 200  |

4， 学会誌「Pediatric Surgery International」を下記のとおり発行した（電子ジャーナルとして発行）

| 発行年月日     | 巻  | 号  |
|-----------|----|----|
| 平成2年4月1日  | 36 | 4  |
| 令和2年5月1日  | 36 | 5  |
| 令和2年6月1日  | 36 | 6  |
| 令和2年7月1日  | 36 | 7  |
| 令和2年8月1日  | 36 | 8  |
| 令和2年9月1日  | 36 | 9  |
| 令和2年10月1日 | 36 | 10 |
| 令和2年11月1日 | 36 | 11 |
| 令和2年12月1日 | 36 | 12 |
| 令和3年1月1日  | 37 | 1  |
| 令和3年2月1日  | 37 | 2  |
| 令和4年3月1日  | 37 | 3  |

(2) ホームページ及び市民公開講座の開催等による小児外科学に関する広報事業（定款第4条第2号）

- 1, ホームページの更新を行った。
- 2, 学会員のワークライフバランス推進に役立つ情報を発信した。

(3) 小児外科学の資格認定に関わる事業（定款第4条第3号）

- 1, 小児外科専門医制度に則り、小児外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、認定施設と教育施設と特定教育関連施設を指定した。
- 2, 日本専門医機構と協働して、新しい日本小児外科学会専門医制度運用の準備を進めた。
- 3, 海外症例を経験症例として認める指導医認定基準を制定した。

(4) 小児外科学に関する教育制度及び医療制度の調査研究事業（定款第4条第4号）

- 1, 第36回卒後教育セミナーと第11回内視鏡セミナーについては、新型コロナウイルスの影響により、開催を断念し、開催する内容については翌年に持ち越すことにした。

(5) 内外の関係学術団体との連絡及び提携事業（定款第4条第5号）

1, 日本医学会、日本医学会連合、日本外科学会、日本小児期外科系関連学会協議会、WOFAPS、他との連携を行った。

(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業(定款第4条第6号)

・財務の健全化に向けた検討として、準会員の増加、バナー広告の設置を行った。  
・社会保険診療報酬に記載される小児外科関連の記載内容について検討を行い、適正な報酬体系を具現するために厚生労働省に対し必要な要請を行った。

- ・学術アンケート調査結果の公表を行った。
- ・第57回学術集会の優秀ビデオ作品の選出を行った。
- ・新生児外科全国集計に関する報告を行った。
- ・小児外科領域でのエビデンスとしての **systematic review** 論文の紹介を行った。
- ・定期学術集会において医療安全講習会を開催した。
- ・NCD 集計データの活用方法を周知するための **NCD-小児外科領域会議** を開催した。

・NCD データ及び学会保有データを利用した研究支援をおこなった。

・NCD 小児外科領域の術式の追加・変更を行い、これに伴って **NCD-Pediatric** の仕様書等のメンテナンスを行った。

・**NCD-Pediatric** にリスクカリキュレーターを実装した。

・NCD 小児外科領域の登録データを用いて、小児外科専門医の地域ごとの適正数を検討するための基礎的資料を作成した。

・学術集会において小児救急セミナーを開催した。

・**PALS** 講習会を開催した。

・地震や台風、豪雨などの大規模災害時の対応について、既存の災害対策マニュアルの改訂を行った。

・小児外科に関する診療ガイドラインの作成を行った（腸回転異常診療ガイドライン）。

・学術集会においてワークライフバランスを推進することを目的とした特別企画を行った。

・移行期支援に関する小児外科医における意識・実態調査を行った。

・移行期支援に関する認定施設における意識・実態調査を行った。

・全国小児外科施設における外科系小児救急患者受け入れ状況を調査した。